

# 優しさと愛にあふれた救急医療

## はじめまして愛救館です

皆様はじめまして。私たちは救急医療に関する活動を行っている愛救館です。これから週一回機関誌を発行し、一週間の救急医療の動きやトピックスをご紹介します。一号はA41枚で構成し、ホットな話題を提供する予定です。救急医療関係者の方はもちろん、そうでない方にもご愛読いただければ幸いです。さて創刊号の本号では私たち愛救館について少しご紹介したいと思います。では今号もお付き合いください。尚来号からは救急医療の話題をお届けしていきます。

### 今号の Contents

- ・ 創刊記事                      愛救館とは・・・？
- ・ 愛救館館長より              創刊に寄せて    特別寄稿
- ・ 編集後記

今号の編集担当

本部

#### 編集について

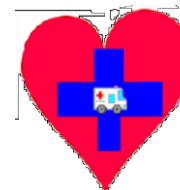
本誌の編集は愛救館の各部署が交代で担当します。

それぞれの担当分野を中心に救急医療の話題をお送りします。

創刊号のみ本部が担当します。

### 創刊記事    愛救館とは

愛救館は、救急医療の研究や啓発を通し、今、様々な課題を抱える救急医療を安定したものとしようとして活動しています。詳しくはホームページに掲載されているので割愛しますが、3部門が協働して活動しています。ここでは私たちのロゴマークをご紹介します。下に掲載の私たちのロゴは、ハートマークと、医療のシンボルの十字のマーク、そして救急車で構成されています。これにより救急医療と愛を現しています。また色遣いは優しい色遣いを心掛け優しさを表現しました。本誌右上掲載のスローガンを図案化したものとなっています。こんな愛救館ですが今後ともどうぞよろしくお願い致します



### 特別寄稿    創刊に寄せて

愛救館 館長 鍊

皆様本日は本誌をご購読いただきありがとうございます。私はこの度愛救館を立ち上げ、館長に就任しました鍊です。さて愛救館では皆様への情報発信手段の一つとして機関誌を発行することに致しました。愛救館は救急医療の研究と啓発を目的としています。また縁あって救急車の総合サイト「命を守る～救急車両」の運営を任されることとなりました。私たちは持てる力、使える物、全てを結集し総力を挙げて救急医療に関する様々な活動に取り組む所存です。つきましては皆様におかれましても、何卒愛救館の活動にご理解とご協力をお願いします。機関誌につきましては私も時間が許せば積極的に寄稿したいと思っております。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

#### 編集後記

本部です。今回だけ編集を担当しました。今回は愛救館のことがお分かりいただけたでしょうか？次号からは救急医療の話題がスタートします。お楽しみに。